

Title	大阪公衆衛生 第84号 協会だより
Author(s)	
Citation	大阪公衆衛生. 84 p.23-p.27
Issue Date	2013-02
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83353
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

出版案内

問合せ先：(財)大阪公衆衛生協会事務局

TEL 06 - 6948 - 5917 FAX 06 - 6948 - 5927

E-mail: osaka.pha@diamond.broba.cc

大阪府立母子保健総合医療センター監修

(財)大阪公衆衛生協会編 「赤ちゃんを迎える日のために」

～妊娠・出産から育児まで～

本書は、これまで「お母さんになる日のために～妊娠から育児まで～」として出版していたものを、タイトルを改めるとともに、新たに母子保健専門機関の監修により、内容を更に充実いたしました。

本書は、主に市町村での母親教室におけるテキストとして使用されているほか、一部の病院でも活用され、好評をいただいています。

監 修：大阪府立母子保健総合医療センター

著 者：大阪府健康福祉部医師他

発 行：(財)大阪公衆衛生協会

頁 数：112頁

価 格：720円(税込)

協会だより

(1) 平成23年度 事業報告

《総務部関係》

【企画事業部会】(部会長 永井 仁美)

1. 理事会及び評議員会

寄附行為第10条及び第12条並びに第30条の規定にもとづき、理事会および評議員会を各2回開催した。

第1回 理事会

日時 平成23年6月30日(木)

13:30～15:00

場所 大阪府病院年金会館 4階 中会議室
議案

①会長・副会長の選任と名誉会長の推戴について

矢内純吉会長が健康上の理由で退任し、南波正宗理事が会長に就任し、矢内純吉氏は名誉会長に推戴された。

なお、副会長には、高山佳洋理事が笹井康典副会長の後任として選任された。

②平成22年度事業報告及び収支決算について

原案どおり承認された。

③協会事務所の移転について

大阪府城東庁舎からの退去要請にもとづき、大阪市中央区谷町一丁目3番1号(双馬ビル4階404号室)に事務所を移転させることについて承認された。(9月22日移転)

第1回 評議員会

日時 平成23年6月30日(木)

10:00～11:30

場所 大阪府病院年金会館 4階 中会議室
議案

①平成22年度事業報告及び収支決算について

原案どおり承認された。

②協会事務所の移転について

大阪市中央区谷町一丁目3番1号(双馬ビル4階404号室)に事務所を移転させることについて承認された。

第2回 理事会

日時 平成24年3月27日(火)

15:00～16:00

場所 大阪赤十字会館 4階 402号室
議案

①平成24年度事業計画及び収支予算
について

原案どおり承認された。

なお、当年度から、WHO及びストップ結核
パートナーシップ日本からの要請にもとづき、
当該事業を本会の公益目的事業の一つの柱
として位置づけ、「結核罹患率日本一大阪」
の結核予防に積極的に取り組むこととした。

②最初の評議員選定委員会の設置・運営
規則の制定について

第2回 評議員会

日時 平成24年3月27日(火)
13:30～14:30

場所 大阪赤十字会館 4階 402号室
議案

①平成24年度 事業計画及び収支予算
について

原案どおり承認された。

②最初の評議員選定委員会の設置・運営
規則の制定について

2. 第54回公衆衛生大阪大会の開催と
公衆衛生事業功労者等の表彰

公衆衛生の普及向上を目的に、公衆衛生従
事者をはじめ府民の参加により公衆衛生大阪
大会を開催し、あわせて公衆衛生事業功労者
の表彰を行った。

なお、実施にあたっては、大阪府、大阪市、
堺市、東大阪市、高槻市の衛生教育大阪大会
と併催した。

日時 平成24年3月26日(月)
14:00～16:30

場所 大阪府病院年金会館 地下1階
コンベンションルーム

参加者 90名

表彰

(1) 公衆衛生事業功労者(協会長表彰)

個人 12 団体 2

(2) 衛生教育功労者

(大阪府知事感謝状贈呈)

個人 4 団体 4

同(堺市長感謝状贈呈)

個人 3

記念講演

『東日本大震災における公衆衛生活動の検証』

講師 関西大学社会安全学部
教授 高鳥毛 敏雄

3. 第33回藤原九十郎賞表彰式並びに記念シ
ンポジウムの開催

生涯を公衆衛生にささげられた故藤原九十郎
博士のご遺徳を記念して設立された基金事業と
して、第32回藤原九十郎賞表彰式並びに記念
シンポジウムを開催し、長年にわたる保健師活
動を通じて公衆衛生・看護事業の発展と、後輩
の指導育成及び地域保健福祉活動に尽力され
た三氏を表彰するとともに、受賞者によるシン
ポジウムを行った。

日時 平成23年6月1日(水)
14:00～16:30

場所 薬業年金会館 301号室
大阪市中心区谷町6丁目5番4号

参加者 112名

<第一部>表彰式

受賞者 森岡 幸子
小池 妙子
池田 明美

<第二部>記念シンポジウム

テーマ「今も昔も～みる・つなぐ・動かす」
～私の保健師としての実践活動～

座長 大阪府立大学看護学部看護学研究科
教授 上野 昌江

シンポジスト 受賞者

4. ストップ結核パートナーシップ関西「国際
セミナー」の開催

本事業は、NP0日本リザルツ(東京)の提案
もあって、ストップ結核パートナーシップ日本
(東京)及びストップ結核パートナーシップ(本
部、ジュネーブ・WHO内)からのパートナーシ
ップへの参加の要請を受け、大阪における結核予
防の一翼を本会も担うという観点から、その先
駆けとして、「国際セミナー」を開催した。

日時 平成24年2月11日(土)
15:00～19:30

場所 大阪キャッスルホテル 7階
菊桜梅の間

参加者 99名

テーマ「世界から日本、大阪の結核を考える」
基調講演

「世界から見た日本、日本の結核対策」

講師 元WHO結核対策部長 古知 新
講演1「わが国の結核対策の現状と課題」

講師 公益法人結核予防会結核研究所長
石川 信克

講演2「結核制圧に向けた医薬品開発
の現状」

講師 大塚製薬医薬品事業部フェロー
石川 廣

講演3「関西における抗酸菌研究の歩み
ー関西抗酸菌研究会からー」

講師 国立病院機構刀根山病院副院長
前倉 亮治

講演4「大阪あいりんの結核の現状と課題」

講師 ヘルスサポート大阪 常務理事
逢坂 隆子

講演5「結核制圧のために何が必要か
ー欧米都市の教訓からー」

講師 関西大学社会安全学部教授
高鳥毛 敏雄

講演6「ストップ結核パートナーシップ日本の役割」

講師 ストップ結核パートナーシップ日本
事務局 田中 慶司

[交歓会]スピーチ

日本WHO協会理事長 關 淳一

結核予防会大阪府支部副支部長

増田 國次

大阪府健康医療部長 高山 佳洋

大阪市健康福祉局医務監 竹内 敏

社会福祉法人大阪社会医療センター

付属病院長 斎藤 忍

大阪公衆衛生協会感染症予防部会長

(堺市衛生研究所長) 田中 智之

公益法人結核予防会結核研究所副所長

下内 昭

【出版編集室】(部会長 一居 誠)

5. 公衆衛生関係図書の発行等

(1) 機関誌「大阪公衆衛生」83号の発行

特集「東日本大震災における
公衆衛生活動の検証」

(2) 「地域保健ノート」の発行

保健所や保健センターにおける実習用
テキストとして作成

(3) 「赤ちゃんを迎える日のために」の発行

市町村における「母親教室」用テキスト
として発行

(4) 「わかりやすい公衆衛生学」の取り扱い

(協会編 ヌーベルヒロカワ発行)

看護学校の教科書用として作成。

(看護師国家試験の出題基準に準拠)

《学術部関係》

【保健計画部会】(部会長 高鳥毛 敏雄)

6. 第26回 保健事業発表会の開催

日時 平成23年11月10日(木)

10:00 ~ 16:50

場所 大阪府病院年金会館

コンベンションルーム

参加者 78名

メインテーマ「東日本大震災における
公衆衛生活動の検証」

ーその課題と今後の備えー

[講演]

1. 「東海・東南海・南海地震に備える」

ーその可能性と対策ー

座長 関西大学社会安全学部

教授 高鳥毛 敏雄

講師 関西大学社会安全学部

准教授 林 能成

2. 「東日本大震災に対する被災地における

保健活動」

ー支援の実績と課題ー

座長 関西大学社会安全学部

教授 高鳥毛 敏雄

講師 大阪府地域保健感染症課

課長 永井 仁美

3. 「災害時の被災者の生活支援

ー福祉避難所の現状と課題をふくめて」

座長 東大阪市保健所健康づくり課

課長 山本 クニ子

講師 桃山学院大学社会学部

学部長 石田 易司

[シンポジウム]

テーマ「東日本大震災の公衆衛生活動の

課題と今後の在り方」

座長 大阪市保健所保健主幹 松下 恭子

堺市北保健センター長 池田 和功

コメンテーター

関西大学社会安全学部

教授 高鳥毛 敏雄

1. 「大阪市の保健チームの災害・支援を

振り返ってーその実績と課題ー」

シンポジスト 大阪市健康福祉局健康部

担当係長 松本 珠実

2. 「災害派遣保健チームにおける行政職の

果たした役割と課題」

シンポジスト 堺市保健所感染症対策課

感染症係長 岩井 健也

3. 「被災者の健康支援における栄養士の

役割と課題」

シンポジスト 大阪府枚方保健所

企画調整課主査 廣石 正富

4. 「大阪府派遣保健所医師からみた

被災地の公衆衛生体制の課題」

シンポジスト 大阪府豊中保健所長

森脇 俊

7. 各種講演会等の開催

【成人保健部会】（部会長 中村 顕）

「講演会」の開催

日時 平成 24 年 2 月 9 日（火）午後 2 時

場所 「クレオ大阪中央」 4 階

セミナーホール

参加者 96 名

テーマ「人工透析導入患者を減らすために」
—市町村のがん検診を中心に—

1. 情報提供

「平成 23 年度大阪府生活習慣病医療費統計」
—糖尿病の医療費を中心に—

講師 大阪府健康保険団体連合会総務部
保健事業課 保健事業専門員 森岡 幸子

2. 講演「尼崎市ではいかにして、人工透析 導入患者をへらすことに成功したか」

講師 尼崎市環境市民局市民サービス課
健康支援推進担当課長 野口 緑

【小児保健部会】（部会長 稲田 浩）

「小児保健講演会」の開催

日時 平成 24 年 3 月 5 日（月）午後 2 時

場所 大阪府立成人病センター本館

6 階大講堂

参加者 57 名

テーマ「小児のワクチン：最近の話題」

講師 国立病院機構三重病院
院長 庵原 俊昭

【感染症予防部会】（部会長 田中 智之）

「感染症予防セミナー」の開催

日時 平成 24 年 2 月 23 日（木）午後 2 時

場所（財）大阪がん予防検診センター

6 階 研修室 3

参加者 60 名

テーマ「大阪府内における麻しん対策
—三年間活動後の成果と問題点—」

総合司会 感染症予防部会長
（堺市衛生研究所所長） 田中 智之

特別講演

「日本の麻しんの現状と麻しん排除計画」

講師 国立感染症研究所ウイルス第三部
第一室長 駒瀬 勝啓

①「大阪府の麻しんの状況について」

発表者 大阪府健康医療部
地域保健感染症課 主査 大平 文人

②「大阪市の麻しん発生状況とその対策」

発表者 大阪市保健所
医務主幹 廣川 秀徹

③「堺市における麻しんの現状」

発表者 堺市保健所医療対策課
医長 藤井 史敏

④「東大阪市の第 2 期第 3 期 MR ワクチンの 接種率向上に向けた取り組み」

発表者 東大阪市保健所 参事 森 国悦

⑤「高槻市における麻しんの現状」

発表者 高槻市保健所保健予防課
主幹 向井 喜美子

⑥「麻しんの検査鑑別診断」

発表者 大阪府立公衆衛生研究所
ウイルス課長 加瀬 哲男

〔総合討論〕

【生活環境部会】（部会長 辻 隆司）

(1)「講演会」を（財）大阪防疫協会と共催

日時 平成 24 年 2 月 2 日（木）午後 2 時

場所 クレオ大阪中央 4 階 セミナーホール

参加者 42 名

講演Ⅰ「食品中の残留農薬について」

講師 大阪府立公衆衛生研究所
衛生化学部長 尾花 裕孝

講演Ⅱ「トコジラミについて」

講師（財）大阪防疫協会第一事業部
技術開発室係長 成 隆光

(2) 大阪市と「大阪市隣接都市環境衛生 業務研修会」を共催

日時 平成 24 年 2 月 10 日（金）

午後 1 時 30 分

場所 大阪市職員人材開発センター

参加者 15 名（但し協会からの参加者）

内容 特別講演と事例発表

8. その他の協会事業

(1)「母と子のすこやか基金」による調査研究 等の助成

①研究助成 8 件

④学会・研究会開催助成 5 件

⑤啓発・調査活動助成 5 件

⑥国際交流助成 3 件

⑥特別事業助成 1 件

(2)「ファルマ・フロンティア基金」による調 査研究等の助成

研究助成 7 件

(3)「エイズ予防事業」基金による調査研究等 の助成

基金運営の具体化に向け検討中

以上。

会員の募集

(財)大阪公衆衛生協会は、大阪における公衆衛生の向上を図り、府民の健康で文化的な生活に寄与するため、昭和 31 年に設立されました(同 60 年に法人化)。

以来、当協会では、公衆衛生従事者、公衆衛生学会関係者、並びに公衆衛生関係団体、地域組織等との連携を深めるとともに、七つの専門部会(企画事業・保健計画・出版編集・成人保健・小児保健・感染症予防・生活環境)を設置して、各分野における公衆衛生の今日的な問題を中心に研修会・セミナー・講演会等を実施するほか、機関誌を発行、基金による研究助成など、当協会の設立目的事業を積極的に行っています。

また、当協会では、現在、公益法人化に向けて、移行認定の申請中ですが、それとともに制定された定款においては、従来の事業に加え、ストップ結核パートナーシップ推進事業を新たな事業とすることを明記し、協会の更なる飛躍を目指しています。

当協会では、会員を募集しています。こぞってご入会くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

[会員の区分]

- ① 特別会員／ 本会の趣旨に賛同いただく企業・団体または個人
- ② 通常会員／ 公衆衛生従事者、公衆衛生学会関係者、市町村関係職員等

[会 費]

- ① 特別会員／ 団体加入 (1 口) 年額 10,000 円
個人加入 (1 口) 年額 2,000 円
- ② 通常会員／ 個人加入 (1 口) 年額 1,000 円

[会員の特典]

- ① 機関誌「大阪公衆衛生」の配布
- ② 「地域保健ノート」等協会発行図書の斡旋
- ③ 講演会、研究会、施設見学会等への案内
- ④ その他協会事業への参加

[入会申込先]

〒540-0012

大阪市中央区谷町1丁目3番1号

双馬ビル4階404号室

(財)大阪公衆衛生協会

TEL : 06-6948-5917

FAX : 06-6948-5927

E-mail : osaka.pha@diamond.broba.cc